

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	○
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	◎
			地域コミュニティ・集落再生		環境	○
			地域交通・情報通信	◎	まちづくり	○
ふりがな		ひらの りゅうへい				
氏名		平野 龍平				
所属	名称	富士急行株式会社／一般財団法人コレゾ財団				
	役職	社長室 アドバイザー／代表理事				
連絡	住所	(非公開)	〒 -			
			-			-
	連絡先	(公開)	E-mail hirano[アットマーク]corezo.net			
		(非公開)	TEL -		FAX -	
	連絡方法		E-Mailでお願いします			
略歴		旅行会社数社勤務を経て、 2002 年、株式会社よしもとトラベルエンタテインメント(吉本興業 100%出資)を設立し、代表取締役役に就任。 以降は、 「着地発信型観光地情報提供システム(たびペディア)」、「OSAKA エンタテインメントフェスティバル／パフォーマーライセンス制度」、「鬼怒川流域ダム観光活性化事業」、「観光資源として見込める地域の人的資源を発掘し、それらの人材を活用した着地地型観光の促進に関する調査」事業他、国土交通省関連の委託事業を中心に、地域活性化、観光振興の事業の企画・制作・運営に携わってきました。 それらの事業や国土交通省後援「よしもと温泉観光地グランプリ(TV 番組を含む)」の企画・制作・運営を通じて、また、視察・調査業務、添乗業務他で日本全国、世界数十か国を訪れて得た知見に基づき、2012 年、一般財団法人コレゾ財団を設立し、代表理事に就任。コレゾ、ホンモノというつくり手、担い手の皆さんに受賞して頂くことで、ホンモノの食づくり、モノづくり、まちづくり、ひとづくり、すまいづくりの他、あらゆる分野、業種、職種での技術や生活の知恵、文化他を子供たちや次の世代に繋ぐネットワークを拡げる活動である「COREZO(コレゾ)賞」表彰事業を開始し、10 年目の 2021 年度には、延べ表彰者数は、300 名以上となっています。 2015 年、富士急行株式会社 社長室アドバイザーに就任。				
著作・論文等		著作物はありませんが、下記 Web サイトの受賞者ご紹介他の記事は、全て、小職自身が取材・調査を行い、作成しています。 http://corezoprize.com/ https://www.facebook.com/corezocorezo/				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

取組概要	数々の地域活性化や観光振興のお手伝いをさせて頂いている内に、言うだけで何もしない人が多いこの世の中で、自ら考え、行動を起こし、真っ当で当たり前なことをごく当たり前に続けている人たちこそ、貴重で、尊い存在であり、行動し続ける先にしか、結果は生まれず、成果は後からついてくるものだ、ということに気が付きました。いろんな地域のさまざまな事例を拝見してきて、成功事例や素晴らしい取り組み、活動に唯一、共通しているのが、魅力的な担い手の皆さんの存在です。 「COREZO(コレゾ)賞」表彰事業は、そんな方々が一堂に会して、ウマイ食を食べ、ウマイお酒を酌み交わしたら、きっとおもしろいことが起こるだろうと思って始めました。 「COREZO(コレゾ)賞」は、「権威なし」「権威なし」、「名誉なし」、「賞金なし」の三拍子揃った「三なし賞」の上、毎年、表彰式は、受賞者のおられる地方で自主開催して頂き、旅費、宿泊費は、自腹、飲食も参加者の持ち寄りなのに、既に4回実施し、延べ300名近い表彰者と関係者、賛同者の交流の場にもなっています。 案の定、日常、交流することもない、分野も業種も職種も違う多士済々な皆さんが一堂に会することで、思いもよらない化学反応が起こり、主催者も知らないところで、いろんなコラボや協働等、おもしろいことが次々に始まっています。 自分のような若輩者が「地域活性化伝道師」に認定され、何かアドバイスするなんておこがしく、先達の皆さんに対し、失礼に過ぎると自覚していますが、「COREZO(コレゾ)賞」他を通じて、数多くの皆さんとのご縁と人的ネットワークだけは、有しており、「人」と「人」のご縁をつなぐ役割は果たせるのではないかと考えています。		
メッセージ	経験上、地域住民の皆さんが魅力的で、楽しく暮らし、働いておられる地域は、地域外からの来訪者にとっても魅力的で、食をはじめとするその地方独自の文化が残っていれば、残っているほど、その魅力は倍加しますが、新幹線や高速道路、バイパスが開通する度に、どこも同じような駅前、道路サイド風景が増えているように思います。 現代社会では、「経済」と「効率」、「利便性」や「快適性」が最優先されて、企業はこぞって規模の拡大、グローバル化やユニバーサル化を図り、工業化や規格化、画一化が進んで、価格もどんどん下がり、誰もが購入できるモノが増え、消費者にも大きな恩恵をもたらしました。 しかし、その一方で、原材料を吟味し、手間ひまを惜しまず、真面目につくられてきた伝統的な逸品は、次から次へと大量に生み出される安直な規格品に席卷されて、絶滅する危機にあり、日本の伝統文化や産業、知恵や技、それらを育んできた日本人の心や価値観や地域性、独自性も失われつつあります。 もはや、地産地消での地域内経済は破綻してしまったので、消費は人口の多い都会に頼らざるを得ませんが、都会と同じ店舗や食材、商品しかない地方に、わざわざ、旅費を払って訪れる価値はあるでしょうか？		
関連ホームページ	https://corezoprize.com/	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。